

## あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子  
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5  
 電話 03(3849)1188  
 FAX 03(3849)7001  
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター  
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

## 平成25年度 第4回評議員会・理事会報告

- ・開催日 平成26年3月17日(月)
- 評議員会 午前10時～午前11時10分
- 理事会 午前11時20分～午後11時40分
- ・場所 足立あかしあ園 3階会議室
- ・議案
  - 第1号議案 平成26年度事業計画(案)・予算(案)について
  - 第2号議案 平成25年度第1次補正予算(案)について
  - 第3号議案 施設長人事について
  - 第4号議案 第11期役員等の選任について
  - 第5号議案 第7期苦情解決第三者委員の選任について
  - 第6号議案 諸規定の改正について

平成25年度、最後の評議員会・理事会が終了いたしました。

新年度に向けての事業計画(案)、予算(案)、補正予算(案)をはじめ、平成26年4月1日から平成28年3月31日までの第11期理事、監事、評議員の選任、第7期苦情解決第三者委員の選任をいただき、他の議案につきましても熱心なご審議を経て、すべての議案が原案通り承認されました。

今年度、障害者総合支援法が施行され、持ち望んでいた障害者権利条約が批准されることになりました。今後、条約にふさわしい制度になっているか見守っていくことが大切になります。

当法人におきましては、昨年4月にグループホーム綾瀬ハウスを開設し、今年4月開設に向けて青井ハウス2棟の建設をしていたことができました。また、平成27年4月を目途に、生活介護事業「舍人あかしあ園」(仮称)の建築に着手いたしました。

法人設立から20周年の節目に当たり、関係機関をはじめ、多くの皆様への感謝と共に、この度評議員会・理事会のご承認を得て、理事長の交代をし、次世代に引き継がせていただくことになりました。新体制に対しましても、変わらないご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(岸本美恵子)

## 新施設建設

法人では、現在2施設について開設準備をすすめています。その内の青井ハウスは、現在は内装工事を進めています。3月末に完成する予定になっています。平成26年度より、法律ではグループホームとケアホームが一体化され、グループホームという名称で事業がすすめられます。これまでは居宅支援事業者が入り支援を行うことが認められませんでした。平成26年度からは可能となります。しかし、事業者が包括的に支援を行うか、居宅支援事業者を入り支援にあたるかは事業者に任されています。青井ハウスは、包括型で、足立あかしあ園・綾瀬あかしあ園の職員がバックアップに入り支援体制を組む計画です。

(仮称)舍人あかしあ園の進捗状況は、1月に土地の売買契約の資金執行を行いました。昨年7月には国の補助内示がなく、東京都・足立区・法人の三者で建設事業をすすめるとしたところですが、2月13日に国の補正予算がつき内示が下りました。この内示を受け、1月に入札で落札をした(株)似鳥工務店との契約を2月17日に済ませています。

2月19日(水)には現地で地鎮祭を行い、今後の工事や通所される皆様の安全を祈願させていただきました。2月20日より工事着工となり、平成27年2月28日には完成し法人への引き渡し予定になっています。

この施設は生活介護事業、および指定特定相談事業をすすめますが、入浴施設や災害時の避難スペースが確保されるなど、安全と利便性を持った施設となります。また日暮里舍人ライナー『舍人駅』より徒歩2分以内と都心へのアクセスも良く、バスでの通所ではなくライナーを使つての通所も考えられる状況です。法人として初めての西部地域の施設となります。建設地近隣の町会の皆様方からも、温かく見守っていただける環境にあります。

平成27年4月の開設に向けて着々と進行しています。ご期待ください。

(施設長 渡邊正人)

## 足立あかしあ園だより

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。足立あかしあ園の利用者の方々も、寒い中ですが元気に通所しています。春を探しに、あちこち散歩に出かけたい季節になってきましたね。

今年度あいのわ福祉会は20周年を迎えましたが、足立あかしあ園も開設20周年を迎えました。先日の2月8日(土)に、綾瀬にある東京マリアージュで20周年祝賀会を盛大に開催いたしました。これ

まで在籍されていた利用者、保護者の方々、懐かしい元職員の方々もお迎えしてのアットホームな会となりました。当日は日

本中が大雪という中での式典となつてしまい、急な御欠席の方

もいらつしやいました。折角ご出席のお返事をいただいていた皆様、天気のこと



とではあります  
が、ご心配で負担をおかけ致しました。

式典はあちこちで笑顔が絶えない楽しい会となりました。食事

事も豪華なコース料理でほっぺが落ちそうな美味しさでした。刻みの食事なども利用者

者に合わせて美味しそうに盛り付けられて、食べるのも

もつたいたくなくらいでした。記念品には、利用者の皆様で心を込めて

作った石鹸飾りも加えさせていただきました。準備の段階も含めて協力



皆様、これまで足立あかしあ園を支えていただいた皆様、本当にありがとうございました。これから足立あかしあ園は新たな活動や取り組みを加えながら、これまで以上に魅力ある施設に、日々成長して参りますのでよろしくお願ひいたします。

年度末に向けて各グループで外出が企画されています。東京スカイツリーや海外のサーカス「オーブオ」(ポルトガルで卵)の鑑賞、東京ティズニランドなどに出かける予定です。

気温の差が激しい時期ですので、皆様も健康には充分気をつけていきましよう。(塩田)

## 綾瀬あかしあ園だより

今回は、保護者と園の協同で開催している『いっしょ勉強会』(以下、勉強会)についてのご報告です。

2月下旬に、元城北養護学校の卒業生の猿渡達明さんをお招きして、「地域で暮らすこと」をテーマに講演して頂きました。

様々な障がいをお持ちでいながら、自立生活センターでの活躍を中心に色々な活動をしており、力強いその



言葉一つひとつに、実にあつという間の1時間半でした。猿渡さんからの言葉で印象的な言葉をご紹介します。

★障がいがある軽い関係なく、皆こうしたい！を必ず持っている。その人のペースが合

て伝え方があ。ほんの小さな動きやアピール等拾っていくのは大切。(言葉ではなく、緊張で伝えたり、白髪が増えての変化だった

り)★障がいがあるからこそ、他者にみてもらう事が大事。その出会いの中で新たな可能性が広がり、理解者が増えて本人を知る人が増える。

★親は敵だと思っている。「うちの子には何もできない」「一生この子の面倒をみなきゃ」が壁になる。子供をどう信じていいか、子供がどうしたいのかを出せるようにしてほしい！本人を信じて、先回りしないで！誰か1人でもその人の思いを理解できる人がで





されば……

ほんの一部しか紹介できませんが、参加された保護者の皆さんからは、「ひたすら反省です」とのコメントが多く聞かれました。子供と少しでも向き合う時間を作ればとの話から、ヘルパーを有効に使ってみようという話もでていました。講演後は、利用者の皆さんとの久しぶりの再会で、皆さん本当に笑顔があふれてくるように喜んでいました。保護者の皆さんの思い、これまでの大切な歴史と経験、これからにむけて大きな学びを得られた勉強会でした。次年度もやります。(森)

### 竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所) だより

早いもので、今年度も残りわずかとなりましたが、皆さまいかがお過ごしですか？

振り返ってみると、あつという間の1年でしたが、きずなでは様々な行事を行い、利用者の方のたくさんさんの笑顔が見られてました。

さて、きずなでは年明けに行なわれた新年会で、今年も6つのグループに分かれて仮装大会を行いました。流行語大賞から、滝川クリス



も・て・な・

し』や、『今でしょ！』を全力で披露してくれた班もありました。

そして今年の優勝グループは竹ノ塚7丁目グループです。ド

ラマ相棒の登場人物に扮し、オリジナルストーリーでの事件簿を披露しました。準備段階から、利用者の方や職員が丸となって楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。利用者の皆さんも職員も、楽しそうな笑顔が見られ、どのグループが優勝しても納得です。掲載した写真から、利用者の方の頑張りや楽しさが少しでも伝わったらと思います。

来年度も、楽しい行事や取り組みがたくさん予定されています。『皆で思い出話をした時に、もう一度皆が笑顔になれる、そんな毎日が繰り返されればいいな』と、利用者の皆さんと共に話しています。来年度も、竹の塚あかしあの杜「きずな」をよろしくお願い致します。(國分)

### 竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

今年の冬は、記録的な大雪になり寒



さも厳しかったですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。のぞみでは、年明けに成人の祝いを行ないました。今年の新成人は2名。1名はスーツを着て通所されました。スーツに皮靴と、いつもと違う格好に「かつこいいですね。」「大人の仲間入りですね。」との声が多く聞かれました。もう1名は、施設で袴に着替えました。綺麗な髪飾りも付け、「かわいいですね。」「似合っていますね。」と声をかけられて、笑顔が満ち溢れていました。

式では、来賓の方々からのお祝いの挨拶や、なつかしい学生時代の担任の先生からのお手紙紹介もありました。のぞみからは、2名の写真をまとめたビデオレターの上映がありました。また、来年、成人を迎える利用者の方、3名から記念品の贈呈があり、「おめでとう。」と声をかけられ、嬉しそうにしています。他の利用者



の方々、のぞみに関わりのある支援員、看護師や、事務員からは、一言ずつメッセージを頂き、新成人者の写真と共に、式典会場の入り口に飾りました。式典中も新成人の2名は、大勢の人の前でも堂々とされていて、そんな姿が印象的でした。

これからも変わらず、のんびり、ゆつくり笑顔の素敵な大人になる事と思っています。これからも「のぞみ」は、新成人の2名と共に、いっぱいのしあわせ、いっぱいいのちのぞみに向かって歩んでいきます。(小山)

### 大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

前号の納会に続いて、新年会レポートです。新年会をやるうぜ、との発案は有志4名。時は2月1日(土)16時、シダックス西新井東口クラブ。アルコール！歌う！話す！食べる！全てが揃う3、300円の飲み放題コース。

予算次第かと思うが、出てくる料理がどうも脂っぽい。カロリー控えめといきたいところだが、銀座ろくさん亭の道場六三郎監修和食コースはちと高



目。好きなだけ飲めるからと、「飲み放題コース」につられての参加となりました。

幹事の皆さんに感謝です。楽しい一時をありがとうございました。（萩原）

◆ ◆ シダックスで行った利用者の皆さん、職員を交えた飲み会に参加しました。普段の仕事では分からない利用者の皆さん、職員の意外な一面が分かるのかなと、私は結構楽しみにしていました。

飲み会は、飲めや歌えの大騒ぎでした。歌は得意ではないのですが、何曲か歌って盛り上げました。（私の歌で盛り上がったかどうかは分かりませんが…。）

◆ ◆ 最近は利用者の皆さん、職員が集まって一緒に楽しめる様な飲み会の機会がなかったのですが、今後はそういった機会を作っていければ、仕事以外のコミュニケーションが増えてくるのかなと思います。（山田）



◆ ◆ 毎年恒例の新年会は、3時間、飲み放題・歌い放題・食べ放題？でした。ほとんどの人がビールで乾杯し、流行りの曲から懐メロまで、幅広いジャンルを、酔っぱらいながら歌い楽しいひと時を過ごしました。（岩淵）

◆ ◆ 皆さん、それぞれ最近はやりのPOPやアニメソングなどを歌って、日頃の忙しさを忘れて大いに盛り上がりました。

中には、女性アイドル歌手の歌を得意な？物まねで、ブーイングを浴びながら歌われた男性利用者の方。また、「うそ！大丈夫ですか？〇〇!!」と思わせるような宴会芸系？の歌を歌われた方等、さまざまでした。

そんなこんなで大いに盛り上がったカラオケ新年会も3時間が経ち、楽しいひと時を過ぎて閉会しました。来年度の新年会は何が起ころか！「What's a Happening!!」



「欧米か！」b y タカアンドトシ。（豊竹）

## 神明福祉園だより

2月には関東でも大雪に見舞われて、各地での被害も大きかったのですが、徐々に気候も暖かくなつて春の訪れももうすぐではないでしょうか。

早いもので、25年度もあと1か月を残すだけとなりました。今年度は福祉園ではグループ編成が変わったりなどで慌ただしい年になりましたが、徐々に落ち着きを取り戻し利用者の皆さんの笑顔もたくさん見られた年になりました。

3月には、ファミリーレクリエーションを予定しています。利用者の皆さん、ご家族、職員、ボランティアさんといくつかの競技を一緒に行い皆で楽しみたいと思います。

26年度も利用者の皆さんの笑顔がたくさん見られるようにしていきたいと思いますので、皆様からのご協力をよろしく願います。（高見）

## 神明デイサービスセンターだより

ほんの少しずつ、春の気配を感じ、体も動かしやすい季節になってきました。

寒い時期でも、デイサービスの皆さん

んには「心も体も元気に！リハビリ」を合言葉に活動していた

が、「今よりもっと体を動かさないだろうか？しかも、面倒くさくなく、楽しい事がいいのだけれど」、と職員間で色々調べた結果、「任天堂のWii U」を導入しました。

リハビリでゲーム？と思うでしょうが、このゲーム機、コントローラーが棒状なので、麻痺がある方でも片手で楽しめるユニバーサルゲーム機なのです。

とは言ってもここはまじめにリハビリを考えて、スポーツソフトをやる事にしました。

1番人気は「ボウリング」。実際のボウリングと同様、コントローラを





振りかざして、下から投げる（ポーズ）。すると、画面のボールが同じタイミングで流れ、ピンを倒し、スコアも出るの、施設内でもボウリング場でやっている気分になれます。今では、点数を競いあったり、「ストライク！」と声を掛けあったりして盛り上がっています。ボクシングゲームでは、パンチを繰り返し、汗びっしょりかいている方もいて、さながらボクシングジムの様です。

ゲームを通して、全身をいつも以上に動かし、仲間と笑い、心も弾み、デイのリハビリ目標に大活躍です。

日ごろ、思うように体が動かせない方に好評で、ゲームの役割がこんなに大きいとは思いませんでしたが、偏見を持たず、新しい感覚を取り入れる。これは、どんな事にも共通していると勉強にもなりました。（白井）

### 神明福祉作業所だより

通所始めの1月6日に、恒例の「新春の集い」を行いました。ひとり1人が今年の目標をみんなの前で発表をして、その絵馬を飾りました。この日は「日本の伝統を感じよう」をテーマに凧作りやボウリング大会を行いました。利用者の皆さんそれぞれが好きな方を選び、1球入魂で挑み、はたまたオリジナル凧を飛ばし楽しんでいまし

た。初日から皆さんの笑顔が見られ、職員も一緒に楽しい時間を過ごし、2014年も新たな気持ちでスタートを切りました。今年度も残りわずかですが、外出活動などのイベントもまだあり、作業や活動を精力的に行いながら、外出活動でよりフレッシュをしていきたいと思っています。今年も神明福祉作業所をよろしく願います。（小野澤）

### グループホームオハナだより

2月に入り、記録に残る2度の大雪には驚きました。

雪化粧をしていく景色を眺めるのは、とても綺麗で心落ち着きますが、いざ現実に戻ると、日常生活に支障が多くて、気持ちまで下がってしまうこともしばしば。

ここ数年、今季の雪だけではなく、猛暑やゲリラ雷雨など、不安定な天候には毎回悩まされています。その為、常にオハナの皆さんの健康管理には心を砕いて来ました。

さて、ケアホームオハナは平成16年8月に開所して9年余り。名前の由来通り、お日様のような温かい笑顔溢れる“家族”として絆を深めておりましたが、5月をもって閉所することとなりました。

今まで、オハナに携わってくださっ

た皆様、本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

オハナの皆さんは初めて親元を離れた生活を自分のものとし、本当に逞しく成長しました。

これからも皆が健康で、どこにいても自分らしく生き生きと笑顔で過ごせることを願っております。

たくさんさんの記憶に残る楽しい時間、ありがとうございました。（永山）

### あいのわ支援センターだより

あいのわ支援センター・神明分室では、今年成人を迎える方が6人中2人いた為、1月23日に「着付けボランティア」の方に来ていただきました。当日は女性利用者の方がお休みだったため、男性利用者の全員で袴を……初めて着る袴にドキドキとわくわくが表情に出ていました。

当日は保護者の方も来られ、袴を着る本人たちよりも嬉しそうに、袴を着る我が息子の登場を楽しみにしている姿が見られました。

着付け後はたくさん写真を撮り、「俺って似合う？」と職員に聞いてみたり



：（笑）。20歳の時のことを思い返してみたり…、「2回目の（40歳）成人式まであと何年」と数えてみたり…にぎやかな時間となりました。

また、あいのわ支援センターでは、青井ハウス、谷中ハウスの入居者の契約を終えいよいよ入居までの準備が始まりました。本人以上に不安そうなど家族の想いや、新しい生活を始めるようとするご本人の意欲的な気持ちなどをお聞きし、1日でも早くご本人、ご家族が安心して過ごせるようしっかり準備を進めていこうと改めて思いました。

入居者全員が女性利用者の方々のため、可愛らしいホームをイメージして必要物品の選定をしています。

4月には内覧会の予定もございまして、ぜひ皆さん青井ハウスへ足を運んで来ていただけたらと思います。（中村）



## 投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

久遠寺の 千の石段 糸桜

秋山 啓司

### この一句

忘れえぬ 年の桜と なりにけり

清水 良郎

台風、地震、津波などの自然災害は言うまでもなく、結婚、出産、旅行、病気、そして永久の別れ。人には、忘れられない刻（とき）があり、言葉があり風景がある。（秋山）

## 後援会だより

（平成26年1月～2月） 敬称略、順不同

◇特別会員 （1口1万円）

山下俊樹

◇団体会員 （1口5千円）

六ツ木診療所（2口）

◇一般会員 （1口3千円～5千円）

高島弘子

◇寄付者

浜野幸彦、徳丸省一、西村文雄、都立青井高等学校生徒会

高橋さく子、医療法人社団宏心会六ツ木診療所院長 山下俊樹

渡辺和彦

### ●竹の塚あかしあの杜「なごみ」・谷中支援センター

短期入所事業利用状況（平成26年1月～2月）

利用人数	349名	内児童	50名
延べ利用日数	514泊	内児童	80泊

## 編集後記

法人設立20周年を迎えた平成25年度は、「綾瀬ハウス（GH）」「あいのわ相談センター」を開設するとともに、「青井ハウス（GH）2棟」「舎人あかしあ園（生活介護）」の開設に向けた準備を進めました。また、新しい人事制度の導入に取り組み、法人内各事業を一体的に進めるために、地域生活支援事業部、就労支援事業部、生活介護事業部、入所支援事業部の4事業部制を設けました。

ご家族の高齢化・地域生活支援としてのグループホームの計画的な開設は喫緊の課題であり、利用者の方の高齢化・重度化対応として、医療ケアの充実も重要になってきています。法人は、利用者の方・ご家族のありのままの姿に寄り添い、誰もが安心できる地域環境作りに継続して取り組みこととしています。

日ごろのご支援、法人ニュース「あかしあ」のご愛読に感謝申し上げますとともに、今後とも、ご支援ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

（施設長 萩原邦男）



★今年も多くの皆様の後援会へのご加入、ご寄付、誠に有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### ●後援会加入のおねがい

法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで